

国立大学法人香川大学学長の業務執行状況の確認結果について

平成31年3月6日
国立大学法人香川大学
学長選考会議

国立大学法人香川大学学長選考会議は、国立大学法人香川大学学長選考会議規則第4条第4号に規定する学長の業務執行状況の確認について、下記のとおり確認を行った。

記

1. 対象期間

平成29年10月1日から平成30年9月30日

2. 確認経過

(1) 学長選考会議（平成31年1月29日開催）

確認資料に基づく書面審査を行い、各委員からの意見を聴取した。

(2) 学長選考会議（平成31年3月6日開催）

各委員からの意見に基づく協議及び学長からのヒアリングを行い、加えて監事からの意見を聴取し、以下のとおり確認結果を策定した。

3. 確認結果

学長選考会議は、「寛 善行」学長の業務執行状況は適正であることを確認した。

寛学長は、平成30年4月1日付けで、創造工学部及び医学部臨床心理学科を新たに設置するという平成9年の工学部設置以来となる改革を成し遂げ、設置後は、両組織とも順調に運営が行われている。また、創造工学部において開始した「デザイン思考教育」及び「リスクマネジメント教育」に「数理情報学（インフォマティクス）教育」を加えた「DRI教育」を、香川大学の教育における特徴的な取り組みとして掲げ、学長就任以降、全学部の学生を対象としてその涵養に努めている。更に、産学官オープンイノベーションのプラットフォームとして「イノベーションデザイン研究所」を着想し、その設置に向けて企業交渉を自ら行う等、香川大学における産学官連携の象徴及び礎を築いた。

学長選考会議では、これらの具体的内容についての確認に加えて、今後の展望についても学長からのヒアリングを行ったところ、大学院改革、地域貢献、グローバル化、予算獲得戦略等について明確な方向性を確認することが出来た。

今後も引き続き、大学改革に弾みをつける主要施策の展開において強力なリーダーシップを発揮すると共に、適正な業務の執行を期待する。